

令和4年6月6日

三河歯科衛生専門学校  
校長 丸山 健 殿

## 三河歯科衛生専門学校 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会  
委員長 新實 良美



令和3年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告します。

### 記

1. 開催日時：令和4年5月22日（日）10:00～11:00

2. 場 所：三河歯科衛生専門学校

3. 参加者：8名

#### 学校関係者評価委員

新實 良美	臨床実習指導者	蒲郡市民病院 歯科衛生士
楠本 裕枝	教育関係者	豊橋歯科衛生士専門学校 専任教員
松下 佳世子	保護者	
山口 詠子	保護者	
今泉 友美	保護者	
岩瀬 真由美	保護者	

#### 学校教員

小池 美佳	(挨拶・趣旨説明・記録)
藤井 広美	(進行・アドバイザー)

4. 実施方法：自己点検評価報告書を基に、基準項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。（評価委員へは、自己点検評価報告書を事前に送付済）

## 5. 意見・改善点

### 1) 教育目標

- ・適切である。
- ・今後も、入学時ガイダンス・保護者会などで丁寧に教育目標を周知していく必要がある。

### 2) 学校運営

- ・ほぼ適切である。
- ・中長期計画会議・職員会議・学年会議が定期的に行われ、目標が明確に定められている。
- ・情報システム化の環境を整備する必要がある。

### 3) 教育活動

- ・適切である。
- ・コロナ禍で障害者・高齢者施設での臨地実習が中止となった中、マナボット（マネキン）による校内実習等の対応はできている。
- ・学生は教科書上で習ったことと現場とのギャップに驚くことが多い。そういった意味でも臨地・臨床実習は大切である。
- ・超高齢社会の今、全身疾患や服薬・バイタルなど全身管理の能力を学生に身につけさせる必要がある。

### 4) 学修成果

- ・ほぼ適切である。
- ・2年連続国家試験合格率100%は評価できる。
- ・退学者の低減が図られるよう学生を多面的に理解するよう努め、さらに学生・保護者との連絡を密にし早期対応をする必要がある。
- ・学生にどのように目的意識を持たせていくか課題である。

### 5) 学生支援

- ・ほぼ適切である。
- ・様々な悩みや心の病を抱える学生が増えており、スクールカウンセラーの設置が望まれる。
- ・卒業生への支援体制（早期離職者や再就職相談窓口）を整備する必要がある。



6) 教育環境

- ・適切である。
- ・今年度実験室（3F）の改装工事を行い、実習机等の設備が新しくなるため実習の効果が上がることを期待したい。

7) 学生の受け入れ募集

- ・適切である。
- ・AO入試の導入が出願者増に繋がっている。
- ・受験生の個性に合わせ、指定校推薦・推薦・一般入試、AO入試と様々な受験形態があることはよい。

8) 財務

- ・適切である。
- ・支出を抑えるべき工夫・改善が必要である。

9) 法令等の遵守

- ・適切である。
- ・専修学校設置基準や関係法令に従い、適正に運営している。

10) 社会貢献・地域貢献

- ・ほぼ適切である。
- ・コロナ禍のため、社会福祉施設との交流会等が中止となっており残念である。